

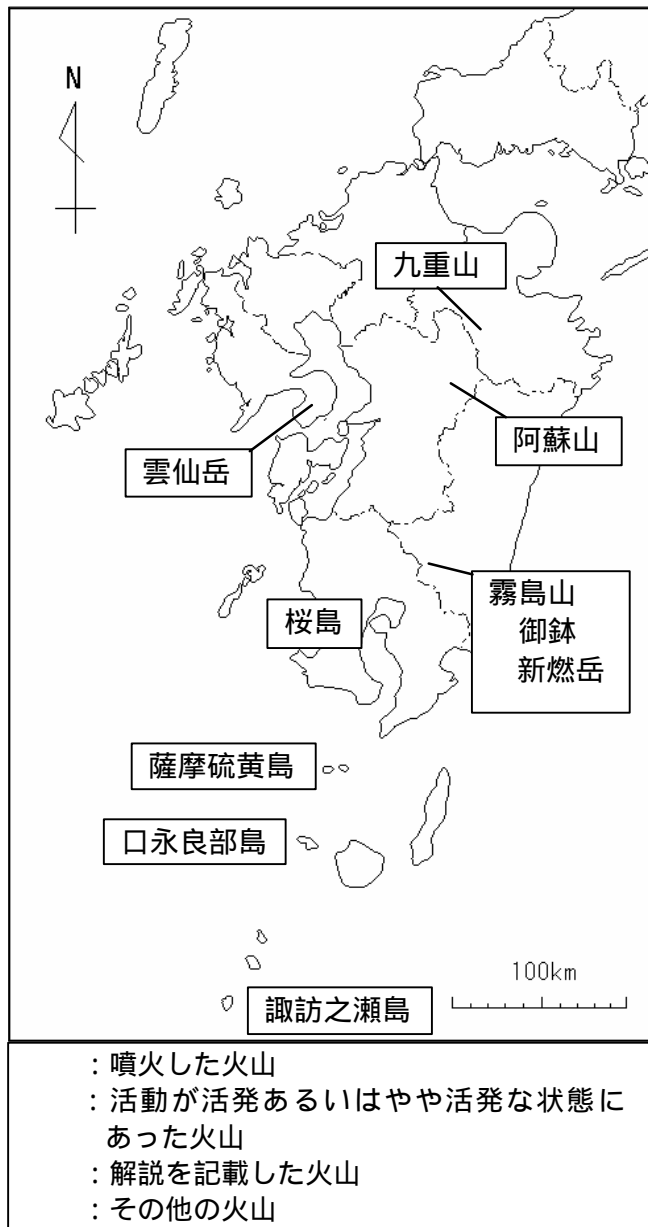
## 九州地方の火山活動解説資料(平成 19 年 5 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

## 【5月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。  
薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

## 九州地方および山口県の活火山



九重山[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山  
[ 御鉢 静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。  
[ 新燃岳 静穏な状況(レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]  
昭和火口及び南岳山頂火口で小規模な噴火が発生しましたが、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。火山性地震や火山性微動は少ない状態で推移しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]  
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]  
火山性地震、火山性微動はやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]  
爆発的噴火や噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

注1 本資料中で記したレベルとは、現在12火山(うち九州地方及び山口県では8火山)に導入している火山活動度レベルをいいます。

この解説資料は気象庁 HP(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料(平成19年6月分)は7月9日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。

## 火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	概 要
桜 島	火山観測情報第 1 号	5 月 16 日 09 時 05 分	比較的静穏な噴火活動(レベル 2) 昭和火口からごく小規模な噴火が発生しました。同火口からの噴火は 2006 年 6 月 20 日以来です。